



## 大型モニタが登場!音と映像の展示が増えました!



玄関ホール

楽器博物館に新たな映像・音響機器が加わりました。加わったのは、110インチ大型液晶モニタと超指向性スピーカー、それに小型液晶モニタです。

1995年に日本初の公立楽器博物館としてオープンした浜松市楽器博物館は、昨年度は開館20周年として、様々なテーマによる展覧会やコンサート等を開催し、好評を博しました。

所蔵する19世紀のフォルテピアノを使用したレクチャーコンサートや、大阪四天王寺に1400年もの長きにわたって伝わる仏教儀式で、国の重要無形民俗文化財である「聖霊会」、正倉院に伝わる世界最古の琵琶譜の復元演奏、昭和初期に男爵大倉喜七郎が考案した和洋折衷新型楽器オークラウロ、浜松の楽器産業と日本の西洋音楽教育の原点ともいえる足踏み式リードオルガン、フィンランドの伝統弦楽器カンテレ、ウィーン式の吹奏楽など、楽器博物館ならではの広い視野での音楽文化を紹介しました。

おかげさまで、3月末日までの1年間の入館者は96,236人となり、これは過去21年間で第3位の記録です。最も多かったのが95年のオープンの年で130,000人、



リニューアル完成式典 2016.3.31

2位がリニューアルの翌年度2007年度の97,000人でした。文化庁芸術祭でのCDの大賞受賞(2012年)、小泉文夫音楽賞(2014年)の受賞など、活動が高く評価され、それが口コミ等で伝わって、日本全国から多くの方に来館していただけたのだと理解しております。ありがたいことと感謝いたします。



地下天空ホール大型モニタ



従来からのモニタ付きヘッドフォン装置



従来からのイヤホンガイド



上部の超指向性スピーカーと小型モニタ



小型モニタ

楽器博物館は 95 年のオープン当初より、「聴く」展示を取り入れてきました。楽器というものが音を出す装置である以上、見るだけでなく聴くということ、つまり音を展示するということは必要不可欠なことだからです。

当初は、展示してある楽器の演奏を、約 70 箇所を設置されたヘッドフォンで聴くという方式でした。2006 年のリニューアルでは、それに加えて、小さなモニタで演奏風景の映像も見ることができるヘッドフォン装置約 30 台と、イヤホンで解説と音が聴ける無料貸し出しの小型端末イヤホンガイド 100 台を取り入れました。また、展示室のところどころに小型の液晶テレビを置き、映像を流しました。

しかし昨今の博物館や美術館では、大型スクリーンに映像を映し出すという、迫力ある映像展示が増えています。もちろん音響も複数のスピーカーによるサラウンド感あるシアターサウンドになっています。楽器博物館も、いつかこのような映像展示ができればと考えていましたが、経費もさることながら、展示室の構造が大型スクリーンを設置できるようにはなっていないので、簡単には実現できませんでした。ところが、この数年で液晶モニタの性能が格段と向上したので、明るい場所でも色鮮やかな、しかも大型の高精細画面が楽しめるようになりました。

設置したのは 55 インチモニタ 4 台を連結した 110 インチの画面です。一階玄関ホールと地下天空ホールフロアに

設置し、今のところ玄関ホールでは音楽の都・ユネスコ創造都市である浜松市を紹介する番組と、天空ホールでは、楽器博物館海外調査のひとつ、パプアニューギニアの音楽シーンを紹介する番組を放映しています。

また、ヘッドフォン装置も長年使用してきたために劣化も見られることから、操作の不要なスピーカーで常に音を発信する方式を採用できないかと考えていたところ、これも技術の進歩により超指向性スピーカーが登場し実用化されているため、それを採用することになりました。展示台の上部から突き出した超指向性スピーカーにより、その下に立った時だけ音が頭上から降り注ぐという感じの展示です。大きな音量では、床に反射して遠くに音が漏れてしまうために、小さな音量にしていますが、自然に音が耳に入ってくるため、この音はなんだろう、と感じてもらえるのではないかと思います。また、超指向性スピーカー設置の展示台のいくつかには、小型モニタも壁に設置し、音と同時に映像も楽しめるようになっています。

これらの装置が完成したのは、つい先日、3 月末のことですので、発信する音や映像のソフトプログラムが整っておらず、さしあたっては、従来使用していたプログラムを使っています。今後は新プログラムを制作し、見学の皆様に楽しんでいただくようにしていく予定です。

レクチャーコンサート No. 179

## 天上のリズム～南インドの打楽器と声のアンサンブル～

インドの人間国宝級打楽器奏者ヴィックウ・ヴィナーヤクラムさんが率いる、グループ“ラヤ・サマルパナム”をお迎えして南インド音楽を紹介するレクチャーコンサートを開催しました。

インド音楽といっても種類はたくさんありますが、今回は南インドの古典音楽に使われる楽器のガタム（壺）、ムリダンガム（両面太鼓）、カンジーラ（片面太鼓）、ヴァイオリン、モールシン（口琴）が登場しました。中でもヴィックウさんが演奏する「ガタム」という演奏用として作られた素焼きの壺が注目されました。このコンサートでは音程の違う4つのガタムが使われ、壺の表面を指先や手のひらで叩いたり、壺の口の部分を手のひらで

塞ぐように叩いたり、一つの壺でも様々な音色を出していました。5拍子、7.5拍子に加え21拍子の難曲も披露されました。複雑で難解にも関わらず、どこか心を引かれる音楽に身を任せ、お客席からも自然と手拍子が聞こえてきました。演奏者だけでなくその音を聴いている全ての人の気持ちが高揚するようでした。

日時：平成28年4月12日（火）19:00～21:00

出演：“ラヤ・サマルパナム”

ヴィックウ・ヴィナーヤクラム（ガタム）、  
N. ラーマクリシュナン（ムリダンガム）、  
S. スワミナータン（カンジーラ）、  
S. ヴェンカトスプラマニアン（ヴァイオリン、ボーカル）、  
竹原幸一（モールシン）

入場者：139人



## ヤマハフィーリングクラブ プレミアムツアー 掛川～浜松 ピアノづくしの旅 2016



3月25日（金）、「ピアノ」をテーマにしたヤマハフィーリングクラブ会員限定のプレミアムツアーが開催されました。ヤマハの掛川工場でピアノの製造工程を見学した後、当館のフォルテピアノを聴き比べました。演奏はフォルテピアノ奏者の小倉貴久子さんです。

約300年前にクリストフォリが発明したピアノの復元品に始まり、ブロードウッド（1802年ロンドン）、ワルター（1810年ウィーン）、伝グラーフ（1819～20? ウィーン）、プレイエル（1830年パリ）、エラール（1874年パリ）と歴史を追って全部で6台のフォルテピアノが紹介されました。クリストフォリの復元品では、ジュスティニーニ作曲の「小さなハンマー付きチェンバロのためのソナタへ調 作品1-3」、ワルターではシューベルト作曲「即興曲 変イ短調 作品90-4」エラールではドビュッシー作曲「ベルガマスク組曲より月の光」が演奏され、それぞれのフォルテピアノと同時代の作曲家の作品を聴くことができました。ホールではなく、展示室内での演奏と解説ですので、様々な角度から楽器を観察し、音色を堪能されていました。その後はヤマハミュージック浜松店「かじまちホール」に場所を移し、モダンピアノによるレクチャーコンサートを楽しまれました。

この地だからこそ開催できる、まさに“ピアノづくし”の大変贅沢なツアーでした。

日時：平成28年3月25日（金）13:30～14:30

出演：小倉貴久子

# ミニコンサート 「パラグアイのアルパ」 ～南米の優しい調べ～

今年度最初のミニコンサートは高橋咲子さんをお迎えしてパラグアイのアルパを演奏していただきました。アルパはスペイン語でハーブという意味です。西洋のハーブに似ていますが、構造や調律、演奏の仕方も違います。

高橋さんは2014年アルゼンチンで行われた南米大陸最大級の音楽祭「コスキンフェスティバル」に日本代表として出場されるほどの腕前の持ち主です。パラグアイの優美な衣装に身を包み、「カスカーダ（滝）」や「君偲ぶ夜」、「コーヒールンバ」などの名曲を披露して下さいました。可憐な音と力強い音を兼ね備えた素晴らしい演奏を楽しむことができました。

演奏後には「体験してみたい方はどうぞ」と声をかけてくださり、初めての南米の楽器に触って楽しむお客様もいらっしゃいました。



日 時：平成 28 年 4 月 17 日（日） 14:00 ～ 14:30  
出 演：高橋咲子 入場者：65 人

## 博物館日誌

- |  |  |
|--|--|
| <p>12/20(日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：38 人</p> <p>12/27(日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：57 人</p> <p>1/10 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：60 人</p> <p>1/11 (月) 特別展 20 周年記念「ポスター、チラシと写真でみる<br/>楽器博物館の 20 年～日本から世界へ～」終了<br/>期間中入場者：47,861 人</p> <p>1/13 (金) レクチャーコンサート&lt;フォルテピアノとその時代 第 6 回&gt;<br/>「透き通る叙情～百年前のスタインウェイで聴く情熱のグリーグ～」<br/>19:00 天空ホール 出演：坂本真由美 入場者：72 人</p> <p>1/17 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)<br/>参加者：27 人</p> <p>1/17 (日) シリーズ音楽の広場「リコーダーとチェンバロ」14:00、15:30<br/>天空ホール 出演者：村尾芽衣、桐畑奈央 (当館職員)<br/>入場者：107 人</p> <p>1/24 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：39 人</p> <p>1/29 (金) 特別授業 聖隷クリストファー中・高等部 中学 1 年生<br/>9:30 ～ 15:00 展示室<br/>講師：田上知穂 (聖隷クリストファー中・高等学校教員)、<br/>梅田徹 (当館職員) 44 人</p> <p>1/31 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)<br/>参加者：50 人</p> <p>2/7 (日) 展示室ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：61 人</p> <p>2/13 (土) 楽器博物館友の会「第 13 回学芸員との夕べ」<br/>コンサート 17:45 天空ホール 入場者：121 人<br/>交流会 19:00 研修交流センター 参加者：105 人</p> <p>2/14 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器) 参加者：38 人</p> <p>2/14 (日) シリーズ音楽の広場「ブルーグラス」14:00、15:30 天空ホール<br/>出演者：フルムーンブルーグラスバンド 入場者：100 人</p> <p>2/21 (日) ガイドツアー 11:00、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：75 人</p> <p>2/28 (日) 展示室ガイドツアー<br/>11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア) 参加者：43 人</p> <p>3/4 (金) レクチャーコンサート<br/>「Spice of Finnish Trad. ～カンテレ “女子” カルテット～」<br/>19:00 天空ホール 出演：カルデミンミット 入場者：115 人</p> <p>3/6 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：21 人</p> <p>3/6 (日) シリーズ音楽の広場「フルートとピアノ」14:00、15:30 天空ホール<br/>出演者：藤田麻貴子、松尾圭子 (当館職員)<br/>入場者：122 人</p> <p>3/13 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)<br/>参加者：35 人</p> | <p>3/20 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)<br/>参加者：17 人</p> <p>3/20 (日) シリーズ音楽の広場「バンジョーとアコーディオン」<br/>14:00、15:30 天空ホール<br/>出演者：Banjo&amp;Accordion (稲川友則、柴田貴子)<br/>入場者：220 人</p> <p>3/21 (月) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくらう」<br/>10:30、14:15 地下展示室<br/>指導：ボランティア 参加者：24 人</p> <p>3/27 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)<br/>参加者：49 人</p> <p>3/31 (木) AV 機器増設リニューアル完成式典 10:00 展示室</p> <p>4/3 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)<br/>参加者：43 人</p> <p>4/5 (火) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくらう」10:30 地下展示室<br/>指導：ボランティア 参加者：7 人</p> <p>4/10 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤楽器)<br/>参加者：36 人</p> <p>4/12 (火) レクチャーコンサート<br/>「天上のリズム～南インドの打楽器と声のアンサンブル～」<br/>19:00 天空ホール 出演：ラヤ・サマルパナム 入場者：139 人</p> <p>4/17 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アフリカ) 参加者：21 人</p> <p>4/17 (日) シリーズ音楽の広場「パラグアイのアルパ」14:00 天空ホール<br/>出演者：高橋咲子 入場者：65 人</p> <p>4/24 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)<br/>参加者：33 人</p> <p>♪ギャラリートーク (職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで 10 分間ほど解説)<br/>4 月 計 104 回 参加者：1345 人</p> |
|--|--|

## これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説を行います  
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- レクチャーコンサート  
「器楽として奏でられるオペラ～パリからヴェネツィアへ～」  
5/14 (土) 18:30 天空ホール  
出演：アンサンブル・リクレアツィオン・ダルカディア  
「マジカル・ジブシーコンサート～ジブシートリオとツインパロムの響き～」  
5/27 (金) 19:00 天空ホール  
出演：古館由佳子、コヴァーチ・カーロイ、パログ・デジュ、  
ヴァダース・カーロイ
- ワークショップ  
「メヌエットからワルツへ～ヨーロッパ古典舞踊入門～」  
5/20 (金) 19:00 天空ホール 講師：市瀬陽子、竹内太郎

### 日程変更のお知らせ

レクチャーコンサート  
「ひとつの音に世界を聴く～絃琴と尺八による和洋の出逢い～」は  
10/12 (水) に変更いたしました。

### 浜松市楽器博物館だより

平成 28 年 5 月 1 日発行 No.110 編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1 TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>